

# 主要施策の成果



# 平成20年度主要施策の成果（一般会計）

## 議会費関係

### 1 議会開催日数

定例会	4回	会期日数	26日
臨時会	3回	会期日数	3日

### 2 付議事件数

町長提出	104件				
・条例	34件	・予算	35件	・決算	9件
・その他	20件	・専決・報告	6件		
議員提出	32件				
・条例	3件	・その他	29件		

### 3 請願・陳情

受理件数	5件
------	----

### 4 一般質問の人数

6月	8人	9月	8人		
12月	6人	3月	9人		計31人

### 5 委員会

議会運営委員会	15回	（議会運営 他）	
常任委員会	21回		
・総務企画常任委員会（付託事件審査 他）	5回		
・教育民生常任委員会（ 〃 ）	7回		
・産業建設常任委員会（ 〃 ）	9回		
広報特別委員会	13回	（議会だより編集 他、「議会だより第11～14号」発行）	

○地域振興策に係る調査特別委員会 3回（地域振興策調査研究）

### 6 議員派遣

#### 行政調査

- ・岩手県気仙郡住田町及び宮城県角田市 平成20年10月23日～24日

## 議員研修

- 「地方分権改革推進」栃木県大会（宇都宮市） 平成20年7月7日
- 町村議会議長・副議長・委員長等研修会（宇都宮市） 平成20年7月11日
- 町村議会議員研修会(宇都宮市) 平成20年11月7日

## 総務費関係

### 1 人事関係（一般職員）

#### (1) 職員数の状況

	平成20.3.31 現 在	平成21.3.31 現 在
一 般 職	238人	222人
技 能 労 務 職	26人	24人
計	264人	246人

(注)年度末退職者を除いた人数

#### (2) 新規採用及び退職数の状況

	新 規 採 用 者	退 職 者
一 般 職	7人	23人
技 能 労 務 職	—	2人
計	7人	25人

### 2 那珂川町自治功労者表彰

- 自治功労者表彰 6名、1団体
- 浄財寄付感謝状贈呈 1名

### 3 地方自治功労叙勲

#### 死亡叙勲

- 戸井田吏 氏 (旭日単光章) 旧馬頭町議会議員
- 佐藤繁一 氏 (旭日単光章) 旧小川町議会議員

### 4 防犯・交通安全対策

犯罪、交通事故のない町を目指し、身近な犯罪防止啓発活動の推進、交通安全教育の実施及び交通安全施設等の整備に努めた。

(1)交通安全対策

- 「那珂川町交通事故抑止対策町民集い」の開催
  - ・平成20年 9月 3日 小川総合福祉センター
- 「那珂川町交通死亡事故抑止対策町民集い」の開催
  - ・平成21年 2月25日 馬頭総合福祉センター

(2)交通指導員の設置

教育指導員 1名  
 一般指導員 7名

(3)交通安全教育の実施

幼稚園・保育園児童対象	114回	4,109人
小中学校児童生徒対象	25回	1,463人
母親対象	11回	364人
高齢者対象	25回	674人

(4)交通安全施設の整備

カーブミラー 2基  
 ガードレール 77m  
 区画線 3,200m

(5)安全で安心なまちづくり

自主防犯団体の活動

- ・役場防犯パトロール隊：火曜日、金曜日、第1日曜日、及び第3日曜日の午後  
 にパトロールを実施
- ・馬頭商工会青年部防犯隊：営業時間中にあわせて防犯活動を実施

5 交通対策

住民の交通の利便及び生活と福祉の向上を図るため、町営バス・コミュニティバスの運行内容の充実に努めた。

路線名	運行開始	年間利用客数(人)			1日平均乗車数(人)			
		H20年度	H19年度	対前年度	H20年度	H19年度	対前年度	
町 営 バ ス	馬頭大那地線	平成元年6月	14,208	9,848	4,360	48.0	33.5	14.5
	馬頭大山田線	平成2年6月	12,070	18,353	6,283	40.8	62.4	21.6
	馬頭小砂小口線	平成3年11月	6,712	1,599	5,113	22.7	5.4	17.3
	馬頭矢又富山線	平成6年4月	3,807	11,222	7,415	12.9	38.2	25.3
	馬頭谷川盛泉線	平成8年4月	8,821	3,121	5,700	29.8	10.6	19.2
5路線計			45,618	44,143	1,475	154.1	150.1	4.0

コミュニティバス	幼稚園経由北廻り線	平成16年4月	5,201	5,300	99	21.1	21.5	0.4
	芳井線	平成16年4月	5,583	5,492	91	15.3	15.0	0.3
	浄法寺線	平成16年4月	561	676	115	1.5	1.9	0.4
	幼稚園経由南廻り線	平成16年4月	7,601	7,892	291	30.8	32.0	1.2
	小梨線	平成16年4月	6,564	6,665	101	18.0	18.3	0.3
	小川南線	平成16年4月	1,028	933	95	2.8	2.6	0.2
	6路線計			26,538	26,958	420	89.5	91.3

(注)運行日数

○町営バス ・ H20 : 296日 ・ H19 : 294日

コミュニティバス

・ H20 : 365日 ただし、幼稚園経由北廻り線・幼稚園経由南廻り線は247日

・ H19 : 365日 ただし、幼稚園経由北廻り線・幼稚園経由南廻り線は247日(台風による運休1日)

## 6 企画調整

### (1) 会議等の開催

まちづくりに資する計画の策定及び推進に関する事項を審議するため、町長の諮問機関である那珂川町まちづくり審議会を開催した。

町の重要施策の審議及び事務事業の総合的な調整を図るため、課長会議を15回開催した。

### (2) 総合振興計画の進行管理

まちづくりの基本指針となる那珂川町総合振興計画に基づき、重点事務事業などの各種事業の進行管理を行った。

### (3) 過疎地域自立促進計画の進行管理

過疎地域自立促進特別措置法により策定した過疎地域自立促進計画後期計画(平成17年度～21年度)に基づき、各種事業の進行管理を行った。

### (4) 情報システムの総合管理

情報資産を様々な脅威から保護することと、情報資産の機密性、安全性及び可用性を確保していくために那珂川町情報セキュリティポリシーに基づき、情報システムの総合管理を行った。

### (5) 携帯電話不感地域の解消

携帯電話等の移動通信サービスの利用可能な地域を拡大し、地域間の情報通信格差の是正を図るため、移動通信用鉄塔施設整備事業を実施した。

○移動通信用鉄塔施設 1基(大那地地区) 8,261千円

### (6) 学官連携の取組み

豊かな地域資源を有する那珂川町と、専門的な知識・技術を有する学校法人宇都宮美術学院宇都宮メディア・アーツ専門学校が、相互補完及び相互発展することを

目的として、平成21年2月19日小川総合福祉センターにおいて「相互友好協力協定」を締結した。

#### (7) まちづくり3大重点プロジェクト

##### 「行財政改革」推進プロジェクト

那珂川町行財政改革大綱（平成17年度～22年度）及び具体的な取組項目をまとめた行財政改革推進計画（平成18年度～22年度）に基づき、行財政改革の推進を図った。

##### 「自然・環境との共生」推進プロジェクト

豊かな自然と共生するまちづくりの実現に向け、那珂川町環境基本条例に基づき、那珂川町環境基本計画基本構想を策定した。

##### 「地域高度情報化」推進プロジェクト

地域高度情報化のまちづくりの基本方針である那珂川町地域情報化基本計画を策定し、本計画に基づき、ケーブルテレビ高度化事業により整備される、情報通信基盤の有効な利活用法を図るため、アプリケーションの導入について検討した。

## 7 地域振興

### (1) 土地利用調整

那珂川町土地利用調整基本計画に基づき、適正な土地利用の誘導を行った。

### (2) 都市計画マスタープランの策定

那珂川町都市計画マスタープランに基づき、都市基盤整備のための事業を推進した。

### (3) 協働によるまちづくり推進事業

住民と町が協働して行うまちづくり事業を推進することで、個性あふれる地域をつくり、「地域住民が主役となる社会」、「地域住民が協働する社会」、「地域が自立する社会」としていくことを目的として、5つのまちづくり団体に対して地域住民の協働によるまちづくり推進事業補助金を交付した。

・とみやまの郷づくり会	150千円
・ボランティア盛谷協議会	500千円
・和見村おこし協議会	200千円
・小川商工会	332千円
・ふれあいの舎利用組合	180千円

### (4) 定住促進事業

町への定住促進を図り、地域の活性化を推進するため、那珂川町定住促進住宅用地貸付事業（農ある田舎暮らし「高手の里」事業）を計画し、その実施に向けて地元説明会や現地見学会を開催した。

## 8 広報・広聴

### (1) 広報の発行

町行政と住民を結ぶパイプ役として広報なかがわを毎月発行し、町の事務事業等について周知を図るとともに、行政に対する関心を高めるよう努めた。

広報なかがわ(毎月10日発行) 6, 200部

### (2) 那珂川町公式ホームページの運営

「行政情報」、「観光と文化」、「公共施設」、「町のデータ」の4つの柱をメインに、町内外への積極的な情報発信を行うため、那珂川町公式ホームページの管理運営を行った。

また、ケーブルテレビ高度化事業と連携して、STB（データ放送など）に対応したホームページのリニューアル作業を実施した。(平成21年4月公開)

### (3) 統計調査

国・県の指定統計として次の調査を実施した。

#### 経済センサス（基本調査調査区設定）

平成21年7月1日を基準日として実施される調査に先立ち、その調査区を設定した。

#### 学校基本調査

毎年5月1日を基準日として、町内の各小中学校、幼稚園の設置状況（児童生徒数、教諭の配置状況など）を調査した。

#### 住宅・土地統計調査

10月1日を基準日として5年ごとに実施、町内31調査区から527戸を抽出し、世帯で所有する住宅や土地の状況（面積、取得時期、改築の有無など）を調査した。

#### ○工業統計調査

毎年12月31日を基準日として、町内の製造業者の事業所ごとの状況（従業員数、売上高、製造品種など）を調査した。

### (4) 行政事務連絡等

行政区長・班長等を委嘱し、事務執行の協力を得た。

行政区長 37人

行政班長 196人

### (5) 情報公開等

#### ○情報公開の運用状況

実施機関	請求件数	公開	一部公開	非公開
町長	2	2	—	—
教育委員会	—	—	—	—



○個人情報保護の運用状況

個人情報保護条例の開示請求はなかった。

9 税務

(1) 町税等収入状況

① 町税

(単位：円、%)

税目	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
町民税	973,968,197	904,428,298	143,060	69,396,839	92.86
(1)個人	775,425,297	710,037,498	143,060	65,244,739	91.57
現年課税分	717,504,000	695,862,324	-	21,641,676	96.98
滞納繰越分	57,921,297	14,175,174	143,060	43,603,063	24.47
(2)法人	198,542,900	194,390,800	-	4,152,100	97.91
現年課税分	195,052,800	193,990,800	-	1,062,000	99.46
滞納繰越分	3,490,100	400,000	-	3,090,100	11.46
固定資産税	1,564,469,136	1,016,334,645	1,563,412	546,571,079	64.96
(1)固定資産税	1,558,159,336	1,010,024,845	1,563,412	546,571,079	64.82
現年課税分	1,032,159,900	938,427,264	79,212	93,653,424	90.92
滞納繰越分	525,999,436	71,597,581	1,484,200	452,917,655	13.61
(2)交付金	6,309,800	6,309,800	-	-	100.00
軽自動車税	44,287,748	39,926,180	36,888	4,324,680	90.15
現年課税分	39,927,200	38,935,000	-	992,200	97.51
滞納繰越分	4,360,548	991,180	36,888	3,332,480	22.73
町たばこ税	123,148,652	123,148,652	-	-	100.00
特別土地保有税	11,209,358	-	-	11,209,358	-
現年課税分	-	-	-	-	-
滞納繰越分	11,209,358	-	-	11,209,358	-
入湯税	18,845,780	18,811,750	-	34,030	99.82
現年課税分	18,817,790	18,783,760	-	34,030	99.82
滞納繰越分	27,990	27,990	-	-	100.00
町税合計	2,735,928,871	2,102,649,525	1,743,360	631,535,986	76.85
現年課税分	2,132,920,142	2,015,457,600	79,212	117,383,330	94.49
滞納繰越分	603,008,729	87,191,925	1,664,148	514,152,656	14.46

②国民健康保険税

(単位：円、%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
国民健康保険税	687,379,302	466,791,876	-	220,587,426	67.91
(1)特別徴収	41,788,500	41,788,500	-	-	100.00
(2)普通徴収	645,590,802	425,003,376	-	220,587,426	65.83
現年課税分	441,402,800	391,725,772	-	49,677,028	88.75
滞納繰越分	204,188,002	33,277,604	-	170,910,398	16.30

③介護保険料

(単位：円、%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
介護保険料	177,691,105	174,757,700	-	2,933,405	98.35
(1)特別徴収	164,613,100	164,613,100	-	-	100.00
(2)普通徴収	13,078,005	10,144,600	-	2,933,405	77.57
現年課税分	10,533,700	9,646,000	-	907,700	91.40
滞納繰越分	2,524,305	498,600	-	2,025,705	19.75

④後期高齢者医療保険料

(単位：円、%)

税 目	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収 入 率
後期高齢者医療保険料	85,507,600	84,552,900	-	956,300	98.88
(1)特別徴収	66,452,100	66,511,100	-	59,000	100.09
(2)普通徴収	19,055,500	18,041,800	-	1,015,300	94.68
現年課税分	19,055,500	18,041,800	-	1,015,300	94.68

普通徴収還付未済額：1,600円

(2)徴収嘱託員収納実績

徴収嘱託員 2人

収 納 額 71,879,840円

(3)税務関係証明等

件 数 3,538件

手数料 887,970円

10 戸籍・住民

戸籍事務は、戸籍法に基づき身分上の重要な事項を戸籍届出等により事務処理をするとともに個人の身分事項等の証明等を行っている。また、住民の動向を記録する住民基本台帳について、転入・転出等の各種届出による異動の事務処理と住民票や印鑑証明等の発行をしており、戸籍住民係では、正確且つ迅速な処理を行い、住民サービスの向上と証明発行事務のスピードアップに努めた。

主な状況は、全住民リスト・人口統計資料等の整備、戸籍の届出、戸籍・住民票の謄抄本、印鑑証明、転入・転出・転居等各種届出の事務及び証明等の発行で、戸籍・住民票等の件数については次のとおりである。

戸籍届出等件数 1, 122件（届出609件・送付513件）

主なものは、出生・死亡・婚姻・離婚・入籍届出等である。

証明等発行件数	戸籍関係	8, 667件
	住民票	9, 390件
	印鑑証明	7, 375件
	その他	1, 061件

## 11 選挙

小川土地改良区総代選挙	平成20年 5月29日執行	無投票
栃木県知事選挙	平成20年11月16日執行	投票率:39.25%

## 12 監査委員

### (1) 例月出納検査の実施

4月から毎月実施 計12日

### (2) 決算審査

一般会計及び特別会計の審査期間	平成20年7月22日～8月1日
水道事業の審査日	平成20年7月10日
意見書提出日	平成20年8月18日

### (3) 定期監査

一般会計及び特別会計の監査期間	平成21年2月6日～2月13日
水道事業の監査日	平成21年2月13日
監査結果報告書提出日	平成21年2月24日

### (4) 財政援助団体等補助監査

○ 社団法人那珂川町シルバー人材センター・

八溝牛群検定組合・武茂の郷組合 平成20年10月20日

那須南農業協同組合・小川地区農作物病虫害防除対策協議会 平成20年11月20日

○ 薬利小学校・小川南小学校・那珂川町体育協会・

青少年海外体験学習派遣団 平成20年12月22日

監査結果報告書提出日 平成21年1月20日

### (5) 財産区特別会計決算審査

馬頭・武茂・大内・大山田財産区審査 平成20年7月23日

意見書提出日 平成20年8月18日

## 民生費関係

### 1 地域福祉

地域での要援護者への対応及び地域福祉活動の強化のため、次の事業を実施した。

○民生委員児童委員の設置	50名	3,961千円
社会福祉協議会の育成		31,600千円

### 2 障害者福祉

障害者の自立更生と対応できる社会環境づくりを推進するための施策として、身体障害者巡回診査更生相談、障害福祉サービス(介護、訓練等給付)事業、地域生活支援事業による支援、重度心身障害者への医療費助成、特定疾患患者への見舞金の給付及び補装具の給付を積極的に実施した。

また、障害者の地域生活支援のため、障害者自立支援特別対策事業を実施した。

補装具給付及び修理	45件	2,195千円
自立支援(更生)医療	77人	5,030千円
重度心身障害者医療費助成	307人・4,733件	33,056千円
特定疾患患者見舞金	98人	3,108千円
障害者福祉サービス事業	97人	139,615千円
○障害者地域生活支援事業	108人	36,811千円
○障害者自立支援特別対策事業		
・相談支援充実・強化事業	委託	1,700千円
・視覚障害者用情報支援機器設置		961千円
・オストメイト対応トイレ設置		599千円
・障害児を育てる地域の支援体制整備		447千円

### 3 老人福祉

高齢者の生きがいづくり及び要援護老人対策として次の事業を実施した。

居室事業	3人	3,696千円
敬老会	19会場・1,602人	6,680千円
敬老祝金	554人	5,150千円
	(80歳:275人、85歳:180人、90歳:64人、95歳:26人、100歳:9人)	
緊急通報システム装置の貸付	62件	1,364千円
ねたきり老人等寝具洗濯サービス事業	利用者36人	247千円
軽度生活援助事業	4人	49千円
低所得者利用者(身体障害者)負担対策事業	2人	10千円



#### (4) 児童手当の支給

小学校修了前の児童を養育している方に対し、手当を次のとおり支給した。

被用者児童手当	延児童数 2,084人	20,840千円
非被用者児童手当	〃 1,388人	13,880千円
特例給付	〃 34人	340千円
被用者小学校修了前特例給付	〃 10,018人	57,270千円
非被用者小学校修了前特例給付	〃 5,389人	31,450千円
小学校修了前特例給付	〃 192人	1,050千円

#### (5) 要保護児童対策

要保護児童対策地域協議会を開催し、要保護児童の早期発見と適切な対応に努めた。  
また、児童及び保護者を対象に「子どもの人権教育」を開催し、児童虐待の防止と、将来における虐待の連鎖を防止するよう努めた。

子どもの人権教育「CAPなす」	19回	280人
-----------------	-----	------

### 6 母子・父子福祉

母子家庭や父子家庭に対して、遺児手当を支給し、制度の周知徹底に努めた。

また、ひとり親世帯・小学校3年生修了前までのこども・妊産婦に対して医療費の助成を行い、対象者の健康増進及び福祉の向上に努めた。

遺児手当	7人	219千円
ひとり親家庭医療費助成	495人・1,659件	3,854千円
こども医療費助成	1,124人・12,615件	22,657千円
妊産婦医療費助成	95人・539件	2,784千円

## 衛生費関係

### 1 保健予防

人生80年時代を迎え、町民の健康問題は、最重要課題である。「自分の健康は自分で守る」という意識の高揚と町民の健康水準の向上を図るため、健康づくり及び疾病予防対策事業を、次のとおり実施した。

#### (1) 健康づくり推進事業

日常生活の多様化に伴い増加する生活習慣病をライフスタイル改善で計画的に実践できるよう支援した。

メンバーズらくらく運動倶楽部	30回	530人
栄養改善及び健康増進	65回	3,115人

カトレア会	12回	278人
その他		
・「広報なかがわ」による啓発活動(食中毒予防等)	12回	
・「福祉まつり」での食育普及及び啓発活動	1回	150人

## (2)成人病予防対策事業

若年からの健康の保持と適切な医療の確保を図るため、健康増進法等に基づき、若年期からの総合的な健康づくりを目的とした保健事業を実施した。

病態別栄養相談	随時	21人
訪問指導	随時	115人
基本健康診査	25回	272人
胃がん検診	25回	1,862人
子宮がん検診	11回	1,056人
乳がん検診	11回	1,403人
大腸がん検診	25回	2,466人
肺がん検診	25回	2,659人
前立腺がん検診	14回	828人
肝炎ウィルス検診	25回	18人
○骨粗しょう検診	11回	228人
歯周疾患検診	7～9月	42人
精神保健相談会	12回	30人

## (3)母子保健対策事業

母子一体の健康管理を目指し、母子保健法に基づく衛生教育及び各種健診を実施した。

新生児訪問(こんにちは赤ちゃん事業)	随時	122人
○母子手帳の交付	随時	119人
乳児健診(4か月・8か月)	12回	214人
1歳児相談	6回	99人
1歳6か月児健診	6回	94人
2歳児相談	6回	94人
3歳児健診	6回	125人
3歳児精密健康診査	随時	5人
虫歯予防教室(フッ素塗布)	20回	633人
妊産婦一般健康診査	随時	724人
ひよこクラブ	29回	1,619人
おかあさん塾	12回	492人

○のびのび発達相談	10回	115人
乳幼児発達相談	8回	28人
○発達障害児事例検討会、研修会	6回	159人

(4) 不妊治療費助成事業

保険が適用されない高額な不妊治療に対し、経費の一部を助成する不妊治療助成事業を実施した。

○不妊治療費助成事業	随時	3人
------------	----	----

(5) 結核及び伝染病予防対策事業

結核及び各種伝染病の発病予防及び患者の早期発見を図るため、予防接種法に基づく各種予防接種を実施した。

結核	BCG接種	127人
予防接種	ポリオ	215人
	麻しん・風しん混合	564人
	二種混合	151人
	三種混合	394人
	インフルエンザ	4,269人

(6) へき地医療対策事業

無医地区住民の医療を確保するため、へき地歯科巡回診療を実施した。

対象地区：大内・大那地・小砂	18回	81人
----------------	-----	-----

2 環境衛生

住民の生活環境の整備を図るため、次の事業を実施した。

(1) 廃棄物収集処理対策事業

廃棄物の分別収集とリサイクルに取り組むために、適正な廃棄物収集事業を実施した。

○廃棄物内訳

・可燃ごみ	4,263t
・不燃ごみ	297t
・資源ごみ	817t
・粗大ごみ	91t
・有害ごみ	6t

○搬入内訳

・委託業者収集搬入	4,518t
・直接搬入	956t

資源ごみ内訳	
・スチール缶	58t
・アルミ缶	14t
・ペットボトル	47t
・びん類	206t
・紙類	412t
・布類	80t



## (2) 畜犬対策事業

動物愛護について正しい知識の普及を図るとともに、狂犬病予防法等に基づく登録、予防注射を実施した。

○登録	94頭
○予防注射	1,013頭
野犬・不用犬(猫)引取り	141(23)頭

## (3) 合併処理浄化槽設置整備事業

生活排水による公共用水域の水質汚濁防止を図るため、合併処理浄化槽設置に対し補助を行った。

○補助件数	61件	23,830千円
-------	-----	----------

## 3 公園墓地・小川墓地

公園墓地200区画及び小川墓地24区画の維持管理を行った。

## 4 環境保全対策

町民が健康で安全な生活を営むため、公害防止対策等の推進に努めた。

### (1) 河川等の水質検査の実施(37ヶ所)

### (2) 騒音、悪臭等の防止対策

### (3) 不法投棄監視員2名が、月10回の巡回監視を行った。

### (4) 北沢地区不法投棄物処理対策

#### ○地域振興等の調査・研究

- ・視察 2回(笠間市、茨城県土浦市・埼玉県騎西市)

広報啓発活動

- ・「広報なかがわ」に北沢地区の不法投棄の解決について毎月連載

## 農林水産業費関係

### 1 農業委員会

農業委員会法に関する所管事務に基づき、農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農家の地位向上に寄与することを目的に事務事業を執行した。

#### (1) 農地法関係では、権利の設定・移転・転用等の許認可事務とともに、農業経営基盤法に基づく利用関係の調整や農地流動化の推進活動を実施した。

○農地法3条(農地等の権利異動)	34件	87筆	16.82ha
○農地法4条(自己農地の転用)	10件	14筆	1.33ha

○農地法5条（転用のための設定・移転） 27件 33筆 1.54ha

- (2)遊休農地関係では、継続的に遊休農地を調査し、区分ごとの面積を集計するとともに各農業者の意向調査等を実施した。また、遊休農地の解消に向け、遊休化した水田に試験圃として菜種・ヘアリーベッチを作付けし、調査・検討等を行った。
- (3)農業者年金関係では、JAと連携し、制度の普及及び加入推進を行った。
- (4)農業青色申告会関係では、関係機関と連携し、農業経営の近代化・合理化の基礎となる農業簿記、記帳指導及び青色申告制度の普及を推進した。

## 2 農業振興事業

農業振興については、中山間地域等直接支払交付事業、農地・水・環境保全向上対策事業、農業担い手の育成などを中心に事業を行った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
中山間地域等直接支払交付事業	農地保全のための共同作業 急傾斜地 14集落 緩傾斜地 56集落	26,962	
農地・水・環境保全向上対策事業	農地水環境保全の良好な保全と質的向上の共同作業 取組集落 8集落	4,010	総事業費15,361
使用済農業生産資材適正処理推進事業	使用済み農業用ビニール、農薬袋等の処理	495	総事業費1,903
食育体験実践事業	農業・料理体験を通じて食育の推進（8小学校）	400	
とちぎの集落営農確立支援事業	集落営農組織の育成	183	総事業費1,104
町単生産調整推進対策事業	麦・大豆等作付拡大への助成	649	
いきいき世代のとちぎ田舎暮らし支援事業	団魂世代等の交流人口増加や地域の活性化の推進	601	

## 3 畜産振興事業

畜産振興については、JA那須南和牛部会、酪農組合等との連携により高品質の牛肉・生乳の生産を推進した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
畜産振興事業	和牛振興事業、優良乳用後継子牛保留事業、家畜伝染病の予防対策事業	4,614	
畜産担い手育成総合整備事業	用地測量、飼料畑整備、牛舎整備1棟、堆肥舎1棟	37,943	内繰越明許分 22,565

#### 4 土地改良事業

農業生産基盤及び農村生活環境基盤整備のため、農道整備、かんがい排水事業を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
県単農業農村整備事業	梅曾地区かんがい排水施設整備事業 測量設計一式、フェンス工L=1627.1m	16,800	
	片平地区かんがい排水施設整備事業 測量設計一式、水路整備L=230.4m	4,300	
	小川舟戸地区かんがい排水施設整備事業 測量設計一式、水路整備L=276.0m	4,500	総事業費5,000
	上西地区農道整備事業 測量設計一式、舗装新設L=250.7m	6,100	
	谷田Ⅱ地区農道整備事業 測量設計一式、舗装新設L=179.6m	3,600	
農業集落排水事業	農業集落排水事業特別会計繰出金	34,218	
町単農村振興事業	新宿平地区水路整備事業	500	総事業費1,251
	矢又台地区農道整備事業	500	〃 1,375
	大猿田地区農道整備事業	500	〃 1,349

#### 5 中山間地域総合整備事業

中山間地域の農業生産基盤、生活環境整備のため、圃場整備、農道・集落道整備等を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
南部地区中山間地域総合整備事業	関沢地区農道整備事業 改良・舗装・用地・補償一式 L=560m	26,250	内繰越明許分 1,370
	割田地区ほ場整備事業 換地業務一式	160	
	仲組地区集落道整備事業 改良・舗装 L=400m	46,594	内繰越明許分 1,290
	松野地区かんがい排水事業 揚水ポンプ設置	17,250	内繰越明許分 16,670
	前山押野線集落道整備事業 改良L=1,110.0m W=5.0m	64,947	内繰越明許分 10,670

#### 6 林業振興事業

(1) 松くい虫防除事業により、地上散布、衛生伐を行い森林病虫害の徹底防除に努めた。

(2) 林道の維持管理を実施するとともに、経営作業道整備事業により支線である作業道を開設し、間伐等森林整備を推進した。

(3) 林道施設の利用促進を積極的に図った。

(4) 八溝産材の需要拡大を図った。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
松くい虫防除事業	地上散布 3.1ha	305	
	衛生伐 213.8m <sup>3</sup>	2,993	
森林整備地域活動支援交付事業	森林整備地域活動支援交付金の交付 8協定 1.722ha	8,610	
元気な森づくり推進市町村交付金事業	里山整備 5箇所 21.7ha	8,583	
森林路網整備事業	林道鶴居峠御前岩線改良工事 L=27.0m W=5.0m	420	
	林道新道線改良工事 L=18.0m W=3.0m	1,280	
	作業道開設2路線 L=1,000m W=2.0m	1,100	
木材需要拡大事業	八溝材使用新築住宅補助12件	3,146	

#### 林業施設利用状況

施設名	利用者数	備考
森林公園特産品生産施設	4,480人	
観光乗馬施設（ホースランド）	1,184人	
県産材利用宿泊施設（ペンションひろせ）	734人	

#### 7 イノシシ処理加工施設整備事業

獣害軽減及び特産品生産による地域の活性化を図るため、イノシシ処理加工施設を整備した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
イノシシ肉加工施設整備事業	木造平屋建 1棟 87.8m <sup>2</sup> イノシシ運搬車 1台	38,000	

## 商工費関係

### 1 商工業の振興

商工会が中心となって実施したまちづくり事業、商店街活性化事業、緊急景気対策事業等について支援した。

さらに、中小企業振興策のひとつとして融資制度の利用促進を図った。

#### (1) 商工会の支援

補助金交付	馬頭商工会	9, 142千円
	小川商工会	5, 862千円

#### (2) 緊急景気対策商品券発行事業

○補助金交付	3, 000千円
--------	----------

#### (3) 中小企業振興資金融資状況

新規貸付件数	47件	140, 220千円
信用保証料補助額	50件	2, 336千円
特定中小企業者認定	6号	104件
	7号	2件

### 2 観光の振興

那珂川町として、観光協会などの観光関連団体とともに、町内の観光施設の案内、温泉郷・料飲店等の紹介、地元特産品の宣伝、及び観光イベントへの参加などに積極的に取り組み、交流人口の増加を推進し、地域の活性化に努めた。

#### (1) 観光関連団体への補助

那珂川町夏まつり実行委員会	4, 000千円
小川地区山車保存会	300千円
馬頭町観光協会	6, 300千円
小川観光協会	1, 260千円
馬頭温泉保護開発協会	900千円

#### (2) 主な観光施設の利用状況（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

施設名	利用人数	備考
青少年旅行村	2, 450人	
町営温泉浴場・定住センター	64, 680人	
観光センター	670, 000人	推計値
ふるさとの森公園	12, 695人	
カタクリ山公園	33, 500人	

### 3 消費者行政

苦情処理相談事項として架空請求、キャッチセールス等に関するものが2件、苦情処理あっせん事項として県消費生活センターへの紹介を数件実施し、被害拡大防止のためCTB等を通して広報活動を実施した。

また、サラ金等の多重債務者相談窓口を設置し、相談にあたった。(相談件数10件)

### 4 開発推進

栃木県工業団地連絡協議会等を通し、企業誘致活動を行った。また、新宿平工業団地調整池に水質浄化装置を設置し、水質の改善と環境保全に努めた。

## 土木費関係

### 1 道路橋りょう整備事業

道路は、生活の利便性の向上や産業の振興に大きな役割を果たしているため、都市間を結ぶ主要幹線道路である国道や県道の整備を関係機関に要望するとともに、地域間の主要幹線道路や生活道路の整備をした。

(単位：千円)

事業種別	路線名等	事業内容等	事業費	備考
道路改良舗装	本町舟戸線	改良・舗装・用地・補償一式 L=409.4m W=9.25m	65,623	うち繰越明許費 46,600 うち事故繰越し 19,023
	清浄場線	舗装一式 L=280.0m W=7.35m	19,950	うち繰越明許費 19,950
	大山田立野線	改良・舗装・用地・補償一式 L=450.0m W=5.0m	92,134	うち繰越明許費 17,000
	白久上の原3号線	改良・舗装・用地・補償一式 L=280.0m W=5.0m	25,515	
	日向線	改良・舗装・用地・補償一式 L=428.6m W=5.0m	39,260	
	南町1号線	支障物件除去一式	30,211	
	小梨線	平面図作成、路線測量、道路設計一式 L=250.0m	3,150	
	南平板山線	平面図作成、路線測量、道路設計一式 L=200.0m	2,835	
	谷田町営住宅線	路線測量、道路設計一式 L=297.0m	2,467	
	三輪片平線	路線測量、道路設計一式 L=150.0m	2,152	

## 2 地籍調査事業

那珂川町の土地の実態を正確に把握するため、国土調査法に基づく地籍調査事業(大山田上郷 地区、谷川 地区、馬頭 地区)を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
地籍調査事業	調査・測量 大山田上郷 A=1.04km <sup>2</sup> 谷川 A=0.43km <sup>2</sup> 馬頭 A=0.36km <sup>2</sup>	21,000	
	複製図作成・数値情報化 大山田上郷Ⅵ・谷川Ⅲ・馬頭Ⅰ 116枚	840	

## 3 都市計画

市街地の景観形成と安全な住環境整備のため街なみ環境整備事業を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
街なみ環境整備事業	室町小公園整備 トイレ1棟、防火水槽1基	17,704	

## 4 公園

公園は、地域住民に憩いと安らぎを提供し、景観の形成に大きく寄与しているため、適正施設の管理、環境の美化を推進し、住民から親しまれ、利用しやすい公園の整備管理に努めた。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
馬頭公園整備事業	遊歩道整備 L=198.4m W=1.5m	4,725	

## 5 住宅

町営・町有住宅の適正な維持管理を行い、良好な居住環境の整備に努めた。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
町営古館住宅屋根防水工事	2号棟屋根防水 A=319.0m <sup>2</sup>	3,937	
町営・町有住宅宅内配線工事	ケーブルテレビ宅内配線一式	4,547	
町営・町有住宅火災報知器設置工事	火災報知器設置一式	3,402	
町有三枚畑住宅解体工事	解体一式 1号棟・5号棟	1,223	

## 消 防 費 関 係

### 1 火災の概況

平成20年度中の那珂川町における出動件数は3件で、前年度に比較して7件の減であった。

主な火災

発 生 日	場 所 等
4月 9日	健武地内 建物火災（住家）
1月 8日	小砂地内 建物火災（住家）
2月10日	矢又地内 その他の火災（原野）

### 2 消防施設等の整備

○防火水槽（40 m<sup>3</sup>） 1基 久那瀬地内

### 3 消防団点検・訓練関係

○点検

10月26日 那珂川町消防団通常点検 出場率：73.75%

訓練

6月 1日 那珂川町消防団消防操法大会

## 教 育 費 関 係

### 1 学校教育

#### (1) 小学校・中学校

県教育委員会の教育施策を踏まえ、人間尊重の精神を基盤として、豊かな情操と道徳性を身につけ、国際的視野を持ち、郷土・社会に貢献しうる実践力と創造性に富む人づくりに努めた。特に地域に根ざした調和と特色ある教育行政を課題とし、各校の創意工夫のもと積極的に教育の推進を図った。なお、教育環境の充実と教育施設・教材備品の整備のため実施した主な事業は次のとおりである。

小学校児童通学費補助	1, 770千円
小学校教育用コンピュータ機器借上	9, 083千円
小学校教材備品費	2, 032千円
小学校就学援助費	3, 407千円



総合学習推進費	900千円
○中学校生徒通学費補助	1,280千円
中学校教育用コンピュータ機器借上	5,473千円
中学校教材備品費	2,414千円
中学校就学援助費	3,145千円
外国語指導助手設置費	3,622千円
○スクールバス運転業務	14,971千円
○小川地区小中学校L3スイッチ設置事業	945千円
○谷川小学校床改修事業	882千円
○小川小学校ランチルーム破風塗装事業	1,738千円
○馬頭中学校空調設置事業（多目的教室）	3,517千円
〃  体育館改修事業（床・照明）	10,290千円
〃  校舎ガラス改修工事	1,932千円
〃  校舎耐震補強改修工事【繰越明許】	92,190千円
〃  校舎耐震補強改修工事監理業務【繰越明許】	4,935千円
〃  屋内体育館耐震補強工事【繰越明許】	22,386千円
〃  屋内体育館耐震補強工事監理業務【繰越明許】	1,344千円
○小川中学校空調設置事業（総合学習室）	2,226千円
〃  校舎耐震診断業務	4,462千円
〃  屋内体育館耐力度調査業務	3,150千円
〃  ネットフェンス改修工事	955千円

## (2) 幼稚園

幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ、家庭では体験できない社会・文化・自然などの体験を十分にさせながら、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性を持った幼児を育てることに努力した。また、幼児教育の向上を図るため、教育内容の改善、施設設備の整備と教育環境の充実を図った。

### ○ひばり幼稚園

園児数           87名（3歳児23名、4歳児32名、5歳児32名）

### ○小川幼稚園

園児数           60名（3歳児19名、4歳児19名、5歳児22名）

## (3) 学校給食センター

平成19年度より、学校給食センターと小川学校給食センターが統合し、学校給食センターの衛生管理に万全を期すとともに、児童生徒の心身の健全発育のため、栄養のバランスに配慮した給食を提供した。

## 給食実施状況

- 小学校 8 校、中学校 2 校、幼稚園 2 園、児童生徒職員数 1, 9 3 8 人
- 完全給食 給食実施回数 1 9 7 回（うち米飯 1 1 7 回）

給食実施総食数 3 7 5, 3 2 5 食

（幼稚園は、5 月より週 3 日の完全給食（水・木・金）、4 月と月・火は牛乳のみの給食を実施。）

## 2 社会教育

生涯学習社会へ適切に対応するための条件整備と町民が生涯学習を実践することができるよう学習環境づくりの形成に努めた。

また、生涯学習の観点にたつて社会教育活動を推進し、青少年をはじめ成人、高齢者を対象に各種学級、講座を開催し、学習機会の提供に努めた。実施にあたっては、指導者の養成と社会教育団体の育成をねらいに学習活動を展開した。

次に、芸術文化の領域では、町民の活動の機会を提供するなど文化団体の育成と文化の振興に努め、さらに、町民一人ひとりが郷土の歴史を理解し、郷土愛の精神を高めることをねらいに地域の文化遺産に関わる学習の機会を提供した。

### (1) 生涯学習

行政と住民が一体となって生涯学習を推進するため、行政、地域、民間団体等で学習・地域活動の連携、協力のあり方について検討を行った。

また、生涯学習の理解と啓蒙を図るために「生涯学習振興大会」を実施した。

### (2) 青少年教育

青少年が社会への参加と体験学習を推進するために、中・高校生を対象にリーダーの養成とボランティア活動を推進した。さらに、青少年育成団体の育成と活動の推進を図るために研修会、交流事業の開催に努めた。

ジュニアボランティアズクラブの育成と活動

那珂川町青少年健全育成町民大会の開催

○成人式の開催

### (3) 成人教育

家庭教育学級、幼児家庭教育学級を開設し、家庭教育の重要性について理解を深め、加えて家庭での実践を促すために研修会を開催した。

### (4) 高齢者教育

高齢者を対象に「シルバー大学」馬頭校・小川校を開設し、集団による学習活動を通して心のふれあいと教養を深め、豊かな人生設計を形成するための学習活動を展開した。

### (5) 公民館活動

馬頭・小川公民館では、家庭生活の知識、技術の習得をねらいに、すくすくクラブ、放送利用講座を開催した。さらに、親子わくわく塾を開催し、体験活動を通して親子のふれあいの機会を設けることに努めた。

小川公民館の管理運営に努め、地域住民や行政機関、学校、企業などによる会議、研修の場として提供した。

○利用件数 656件 利用人数 5,900人

### (6) 国際交流活動

国際交流事業として、青少年海外体験派遣事業、ホームステイウィークエンド事業、ホースヘッズ村交流事業等を実施した。

### (7) 文化芸術活動

- 文化芸術の振興
- 文化財保護事業
- 子どもの森の管理

### (8) 美術館の運営

美術品、資料等の適切な保存を図るとともに他館と連携しながら各種展覧会を実施した。また、調査・研究及び普及等の事業を行い、芸術その他の文化の振興に努めた。

#### ○展覧会

会 期	展 覧 会 名	入 館 者 数 (人)
4月18日～ 5月25日	特別展 岡本太郎の世界展 －現代アートの洗礼－	5,802
5月30日～ 6月29日	明治の浮世絵 文明開化と横浜絵展 －横浜開港150年記念－	2,636
7月 4日～ 8月 3日	国貞の世界展 －北斎より人気の高かった絵師－	2,168
8月 8日～ 9月15日	江戸の風物 おばけ・妖怪展 －今とは違う江戸のおばけ－	5,517
9月20日～10月19日	特別展 浮世絵風景版画の変遷展（前期）	3,081
10月24日～11月24日	特別展 浮世絵風景版画の変遷展（後期）	4,947
11月29日～ 1月12日	浮世絵で見る忠臣蔵の世界展	2,293
1月17日～ 2月22日	新版画による風景画展	2,682
2月27日～ 4月12日	青木コレクション展 ー青木藤作の思いー	2,798
合 計	特別展3回、企画展6回	31,924

○町民参加型展覧会【視聴覚研修室ギャラリー】

会 期	展 名	観 覧 者 数 (人)
4月27日～ 5月 6日	岡倉石朋個展「天真爛漫」	9 8 1
5月10日～ 5月18日	小砂焼展	3 6 2
5月20日～ 5月25日	まゆクラフト展	3 8 6
6月14日～ 6月22日	二人の絵画展	2 8 9
7月15日～ 7月21日	日米二人展（版画展）	2 2 9
8月 8日～ 8月30日	第1回なかがわまちアートフォレスタ2008	1, 2 7 8
9月 2日～ 9月15日	2008 はな・花写真展	1, 0 8 6
10月11日～10月13日	県シルバー大学北校美術部展	3 2 6
11月11日～11月14日	サイディア・フラハ作品展	8 5
11月18日～11月24日	「写友 那珂川」第2回作品展	6 1 0
11月29日～12月 7日	小さな花の会 押し花作品展	4 7 3
2月13日～ 3月 1日	第4回那珂川町学生版画コンクール入選作品展示	3 6 1
3月10日～ 3月15日	小川写真クラブ写真展	5 8 0
合 計	1 3 件	7, 0 4 6

○調査研究・教育普及活動

- ・浮世絵風景版画の変遷展図録の発刊
- ・秋季特別展 記念講演会 2回 9 6 人参加
- ・ミュージアムトークの開催（随時）
- ・ワークショップの開催 4回 5 1 人参加
- ・第4回那珂川町学生版画コンクール 応募作品数：8 7 5 点

(9)郷土資料館の運営

郷土の歴史、民俗等に関する資料を収集保存し、郷土への理解と意識の高揚を図ることをねらいに常設展を開催した。

○古文書入門講座の開催

(10)山村開発センター

住民の各種研修・会議・集会等に利用された。また、行政機関、学校、企業などによる会議、研修の場として提供した。

○利用件数 5 5 3 件 利用人数 6, 5 2 8 人

## (11) 図書館

町民の生涯にわたる学習活動の拠点として、図書館資料の充実に努めるとともに図書館活動の推進に努めた。その実施にあたっては、学校、関係機関、ボランティア団体との密接な連携のもとに事業を実施し、町民の豊かな教養、情操を涵養するために積極的な文化、読書活動を展開した。

図書館奉仕業務の充実

図書館資料(図書・行政資料・逐次刊行物・郷土資料)の収集と充実

・受入冊数 3, 022冊

視聴覚資料(CD・DVD・ビデオ)の充実

調査相談業務(レファレンス業務)の実施と充実

教育・保育機関等への団体貸出の促進

### ○「那珂川町子ども読書活動推進計画」の実施

国立国会図書館、県内図書館等との図書館資料の相互貸借の実施と充実

「調べ学習」支援を中心とする学社連携体制の促進

図書館運営及び活動の調査と研究(図書館協議会)

ボランティア活動(婦人・高校生)の実施と充実

年間利用状況

・登録者数 3, 300人

・図書貸出冊数 92, 488冊

文化事業の開催と文化活動の推進

・お話し会	幼児～小学生対象	41回	632人
・読書会	全町民対象	24回	143人
・ブックスタート	乳幼児・保護者対象	6回	222組
・幼稚園児の図書室利用	年長児及び年中児	30回	623人
・工作教室	幼児～小学生対象	2回	27人
・親子読書教室	幼児・保護者対象	2回	100人
・文芸講演会	小川小生徒・PTA	1回	約110人

## (12) なす風土記の丘資料館管理運営受託事業

史跡・資料等の適切な保存を図り、これらを広く県内外の人々に公開するとともに、古代那須の歴史への理解を深め、学習の場を提供し、文化財愛護思想の普及高揚に役立てていきたいと考え、小川館・湯津上館ごとのテーマに沿った関係資料の収集・展示を行うほか、各種展示会や体験講座などを開催した。

○展示会関係

会 期	展 示 会 名	場 所	入館者数(人)
4月12日～ 6月22日	第17回特別展 「塩谷町の遺跡」	湯津上館	3, 215
7月 5日～ 8月31日	夏休み小中学生向け展示会 「那須の発掘物語-竪穴住居にくらす-」	小川館	1, 748
9月20日～11月24日	第16回企画展 「那須の渡来文化」	湯津上館	1, 397
12月 6日～ 1月25日	冬休み小中学生向け展示会 「丑を考古学する」	小川館	652
1月31日～ 3月15日	巡回展 「栃木の遺跡 -最近の発掘調査の成果から-」	小川館	1, 881

○展示会関連行事

実 施 日	行 事 名	場 所	参加者数(人)
4月13日	石斧づくり	湯津上館	11
5月18日	特別展記念講演会	小川館	52
5月18日	特別展ギャラリートーク	湯津上館	41
6月 4日	春の史跡見学会	宮城県方面	54
7月 5日	竪穴住居模型づくり	小川館	17
7月20日	縄文土器づくり	小川館	22
7月27日	縄文土器づくり2	小川館	26
8月 3日	考古学教室Ⅰ	小川館	9
8月10日	考古学教室Ⅱ	小川館	26
9月20日	企画展オープニングイベント	小川館	95
10月12日	秋の史跡見学会	埼玉県方面	57
10月26日	企画展記念講演会、シンポジウム	ふるさと館	45
10月26日	企画展展示解説	湯津上館	25
11月 2日	しらきの里ウォーク	なす風土記の丘周辺	70
12月 7日	古代文字講座	小川館	38
12月21日	年賀状づくり	小川館	9
1月31日	縄文土器づくり	小川館	1
2月28日	遺跡発表会	小川館	44

○普及啓発活動

出前授業として県内各所から依頼を受け、講義を5回、体験教室を24回実施したほか、この地域の歴史を学び展示解説等の補助として活かす歴史解説員養成講座を全14回行った。

3 社会体育

スポーツを通じて、健康で生きがいのある生活を営み、明朗で連帯感に満ちた町づくりを進めるため、町民ひとり1スポーツを目標に、スポーツ人口の拡大に努め、さらに各種のスポーツ大会、教室、研修講習会等を開催し、スポーツの普及と振興を図った。

(1) 体育施設・夜間照明施設・学校施設(体育施設)の利用状況

施設名		利用日数(日)	利用団体数	延利用人数(人)
体 育 施 設	総合体育館	329	40	14,016
	馬頭西体育館	126	13	3,346
	小川体育館	243	25	24,332
	健武体育館	240	4	2,095
	武茂体育館	240	5	2,448
	馬頭武道館	264	4	2,208
	小川武道館	240	2	1,440
	小川弓道場	25	1	175
	御霊神社弓道場	—	—	—
	馬頭運動場	221	16	24,766
	武茂運動場	120	1	3,960
	大山田下郷運動場	195	5	4,583
	小川運動場	275	24	12,151
	小川那珂川運動場	60	1	420
	小川庭球場	329	21	2,632
	馬頭水泳プール	38	—	1,882
	小川水泳プール	36	—	1,781
	合 計	2,981	162	102,235
(うち 夜 間 照 明)	馬頭運動場	190	6	6,004
	武茂運動場	120	1	3,960
	大山田下郷運動場	173	3	3,933
	小川運動場	246	8	8,771
	小川庭球場	243	7	2,137
	大内小運動場	61	4	2,115
	小川南小運動場	272	4	7,140
	合 計	1,305	33	34,060

学	馬頭小学校	校庭	2	1	45
		体育館	60	4	1,500
校	谷川小学校	校庭	—	—	—
		体育館	35	3	455
施	大内小学校	校庭	61	4	2,115
		体育館	53	2	424
設	大山田小学校	校庭	—	—	—
		体育館	124	3	1,116
	小川小学校	校庭	62	2	1,145
		体育館	60	1	1,080
	薬利小学校	校庭	52	1	1,152
		体育館	66	2	1,261
	小川南小学校	校庭	272	4	7,140
		体育館	84	3	1,512
	馬頭中学校	校庭	—	—	—
		体育館	44	1	220
	小川中学校	校庭	—	—	—
		体育館	—	—	—
合 計		校庭	449	12	11,597
		体育館	526	19	7,568

(2) 社会体育活動の推進 (各種体育行事の開催状況)

行 事 内 容	回数(回)	日数(日)	参加人数(人)
町民各種大会 ・野球 ・ゴルフ ・ゲートボール ・アーチェリー ・登山 ・バレーボール ・剣道 ・スキー ・バスケットボール ・ソフトボール ・ソフトバレーボール ・町民ハイキング ・あるけあるけ大会 ・ゆりがねマラソン大会 ・町民体育祭	53	103	6,727
各種地区及び県大会 ・郡市町対抗駅伝競走大会 ・なすみなみ若鮎駅伝競走大会 ・県民スポーツ大会	3	3	142

(3) 体育協会・スポーツクラブ等の育成

町体育協会専門部(24専門部)による自主活動の促進と指導運営体制の強化及び支部(31支部)の地域スポーツ活動の促進を図った。

○スポーツクラブ(野球、ソフトボール、バレーボール、テニス、スポーツ少年団等)

- ・スポーツクラブ 102団体 1,470人
- ・スポーツ少年団 14団体 217人
- ・統合型地域スポーツクラブ設立検討会及び研修会の開催 5回



#### (4) スポーツの普及活動

- スポーツ講習会の開催
- スポーツ傷害保険の加入促進
- スポーツカレンダーの発行

## 災害復旧費関係

### 1 農林水産施設災害復旧事業

平成20年5月・7月・8月・9月の集中豪雨により被害を受けた農林水産施設について災害復旧事業を実施した。

(単位：千円)

事業名等	事業内容	事業費	備考
農地・農業用施設災害復旧事業	農地1件、施設2件	2,700	国庫支出金2,376
農地・農業用施設災害復旧事業 (町単独災害復旧事業分)	農地6件 施設12件	3,062	総事業費7,119
合	計	5,762	

# 平成20年度主要施策の成果（特別会計）

## 国民健康保険事業

保健事業においては、人間ドックなどの事業を通して、生活習慣病の早期発見、早期治療といった被保険者自身の意識の高揚と国保運営の健全化に努めた。

### 1 療養の給付等

療養諸費費用額負担の状況は、次のとおりである。

（単位：千円）

区分	項目	件数	費用額	保険者負担金	一部負担金	他法負担金	
						他法優先	国保優先
一般被保険者	療養の給付	71,093	1,388,026	1,007,996	344,898		35,132
	療養費	1,664	15,423	11,150	4,002		271
	計	72,757	1,403,449	1,019,146	348,900		35,403
退職被保険者等	療養の給付	6,405	107,207	78,000	28,528		679
	療養費	161	1,478	1,109	369		
	計	6,566	108,685	79,109	28,897		679
合計		79,323	1,512,134	1,098,255	377,797		36,082

### 2 その他の給付状況

被保険者の出産、死亡及び高額療養費に対して、次のとおり支給した。

出産育児一時金	31件	11,060千円
葬祭費	38件	1,900千円
高額療養費	1,788件	123,187千円
・一般	1,664件	116,507千円
・退職	124件	6,680千円

### 3 国保世帯数、被保険者の状況

平均世帯数	3,294世帯
平均被保険者数	6,621人

#### 4 保健事業関係

被保険者の健康保持増進と医療費適正化対策として、次のとおり実施した。

特定検診	1, 508名
特定保健指導	182名
山の家利用助成	1, 447件
医療費通知	16, 032通（6回実施）
人間ドック	172名

### 老人保健事業

老人の適切な医療の確保を図るため老人保健法に基づく医療給付を実施した。

医療給付費	6, 057件	144, 325千円
医療費支給費	643件	6, 032千円

### 後期高齢者医療事業

高齢者の適切な医療費の確保を図るため、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく医療給付を実施した。

○栃木県後期高齢者医療広域連合納付金		128, 423千円
〃	負担金	11, 998千円
○医療給付費負担金		134, 702千円
○平均被保険者数		3, 343名
○健康診査受診者	医療機関検診	829名
	集団検診	424名

### 介護保険事業

第3期介護保険事業計画(H18～20年度)の最終年度に当ることから、介護保険制度の更なる周知に努めた。また、介護予防事業の充実に努めた。

### 1 被保険者の状況

65歳以上の第1号被保険者は、平成20年度末現在5,585人（特別徴収5,190人、普通徴収395人）であり、保険料徴収額は、174,758千円であった。

### 2 認定申請及び認定の状況

被保険者からの認定申請及び更新は、1,143件であり、これらを調査（一部委託）したのち、認定事務については、南那須地区広域行政事務組合に委託した。なお、平成20年度末の認定者数は870人であり、詳細は次のとおりである。

○要介護（要支援）認定者数（平成20年度末）

（単位：人）

	要支援 1	要支援 2	経過的 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
1号被保険者	21	79	—	156	171	182	137	96	842
2号被保険者	—	1	—	5	10	4	5	3	28
計	21	80	—	161	181	186	142	99	870

### 3 利用及び給付状況

介護給付利用の総件数は23,146件、給付費総額は1,045,412千円で、その内訳は次のとおりである。

居宅介護サービス給付費	8,062件	370,699千円
地域密着型居宅介護サービス給付費	557件	38,904千円
施設介護サービス給付費	2,061件	484,650千円
・介護老人福祉施設	1,278件	293,811千円
・介護老人保健施設	728件	176,784千円
・介護療養型医療施設	55件	14,056千円
居宅介護福祉用具購入費	50件	1,016千円
居宅介護住宅改修費	30件	4,163千円
居宅介護サービス計画給付費	4,813件	51,342千円
介護予防サービス給付費	1,388件	17,277千円
○地域密着型介護予防サービス給付費	10件	686千円
介護予防福祉用具購入費	4件	55千円
介護予防住宅改修費	6件	682千円
介護予防サービス計画給付費	580件	2,398千円
高額介護サービス費	1,838件	16,319千円
特定入所者介護サービス給付費	1,686件	55,823千円

#### 4 地域支援事業

要支援・要介護状態になる前からの介護予防を推進するとともに、地域における包括的・継続的なマネジメント機能を強化する観点から、以下の事業を実施した。

##### (1) 介護予防特定高齢者施策

要支援・要介護になるおそれの高い者等の把握と介護予防事業（通所型・訪問型）を実施した。

##### 特定高齢者把握事業

生活習慣病検診及び医療機関検診の結果をうけて、特定高齢者の把握決定を行う生活習慣病健診事後指導時に体力測定、個別相談等を実施した。

・生活習慣病健診及び事後指導(65歳以上)	24回	1,154人
・医療機関検診	7～9月	829人

##### 通所型介護予防事業

把握された特定高齢者を対象に、「運動機能の向上」、「栄養改善」、「口腔機能の向上」を目的とした介護予防教室を実施した。

・前期教室	15回	延251人
・後期教室	15回	延208人
・転ばん運動教室（継続）	48回	延901人

##### 訪問型介護予防教室

把握された閉じこもり、認知症、うつ等のおそれのある特定高齢者を対象に、専門医による相談会の実施と保健師による訪問を実施し、必要な相談、指導を実施した。

・高齢者精神保健相談会	12回	7人
・保健師による訪問指導		49人

##### (2) 介護予防一般高齢者施策

一般高齢者を対象として、介護予防に関する知識の普及・啓発と、介護予防ボランティアの育成を行った。

##### 介護予防普及啓発事業

各単位老人クラブや町社会福祉協議会の事業と連携し、転倒予防のための運動指導を実施した。

・那珂川おたっしや会	32回	504人
・ふれ合いいいききサロン	8回	106人

##### 地域介護予防活動支援事業

介護予防ボランティア「ほっとなかがわ」の育成と教室への協力。

・ボランティア研修会	2回	20人
・ボランティア育成強化研修会	3回	44人

・介護予防教室・検診への協力 78回 396人

(3)介護予防ケアマネジメント事業

特定高齢者及び要介護認定において要支援1・2となった対象者の介護予防プランの作成を実施した。

特定高齢者介護予防プラン作成 36人

要支援1・2の者の居宅介護予防支援 588件（内委託184件）

(4)総合相談支援事業

介護保険その他の保健福祉サービスに関する相談や高齢者虐待に対する相談、指導の実施と介護支援専門員への指導

○介護相談件数 84件

高齢者虐待対応 7件

○高齢者実態把握 1,860件

(5)包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

介護支援専門員への助言、指導と処遇困難事例のケース検討会の開催を実施した。

事例検討会の開催 11回

(6)任意事業

地域自立生活支援事業（生活援助員派遣事業）

高齢者等へのホームヘルパー派遣

時間：309時間 委託先：那珂川町社会福祉協議会

家族介護教室

専門医による「認知症の基礎知識」の講話や、精神保健福祉士による対応の仕方の講話、又認知症の方が利用する施設の見学等を実施

開催回数：6回 参加者：74人

寝たきり老人等介護手当等の支給

・寝たきり老人等介護手当 135人 5,985千円

・おむつ手当 114人 5,415千円

地域包括支援センター運営協議会の開催

地域包括支援センターの活動状況の実績報告及び、次年度の活動予定の承認

開催日：平成21年3月26日

## ケーブルテレビ事業

放送センターの維持管理を図るとともに、地域情報としての自主放送番組の提供と充実に努めた。また、町内全域において、地上デジタルテレビ放送への対応や高速インターネット通信網、誰でも簡単に使える情報通信端末の整備等、放送・通信環境及び行政情報基盤の整備を行うため、ケーブルテレビ高度化事業を推進した。

### 1 放送センターの管理運営

○加入世帯数 3, 189世帯 (81.8%)

○有線テレビ使用料収入 38, 557千円

○主な施設工事

・公共事業に伴う移設工事 4, 756千円 (9件)

・映像不良・東電柱立替等による工事 8, 740千円 (92件)

○主な自主制作番組

・ニュースポケット 収録 94回 放送150時間/月

・わんぱくざかり 6回 3時間

・CTBピックアップ 22回

○録画中継番組

・町議会定例会・臨時会 7回

○特別企画番組

・ニュースダイジェスト (上半期・下半期)

・新春インタビュー (町長・議長・教育長)

○その他の番組

・県政ピックアップ・ニコロデオン・グリーンチャンネル・NHKエンタープライズ (教養娯楽番組)・サイエンスチャンネル (THE MAKING 他)

○有料広告放送

・文字放送 20件

・映像放送 6件

### 2 ケーブルテレビ高度化事業

広報やパンフレット、ホームページ等で事業の普及に努めた。また、説明会、戸別訪問等を行うとともに、宅内配線工事費補助金を交付し、加入促進に努めた。

試験放送・試験通信を実施し、供用開始に向けての準備態勢を整備した。

主な事業は、次のとおりである。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
馬頭地区ケーブルテレビ施設整備事業	施設整備工事 ・引込線 L=108.2km ・端末機器 4,800台 ・センター設備 一式 ・旧施設撤去工事 一式	694,465	
	公共施設宅内配線工事 183箇所	8,284	
	町単独引込線工事 L=24.7km	2,919	
	設計監理業務委託	3,780	
	電線地下埋設工事 L=220m	1,045	
	東電柱共架竣工票作成業務委託	5,145	
	電柱移転補償費	2,485	
	工事雑費	4,051	
小川地区ケーブルテレビ施設整備事業	施設設備工事 ・幹線光ケーブル L=74.6km ・幹線同軸ケーブル L=122.1km ・引込線 L=32.3km ・サブセンター設備 一式	513,996	
	設計監理業務委託	3,780	
	電柱移転補償費	18,124	
	工事雑費	116	

## 下水道事業

公共用水域の水質保全と健康で快適な生活環境の確保のため、下水道整備の実施及び施設の維持管理に努めた。

馬頭処理区については、供用開始区域の加入促進を図った。

概要については、次のとおりである。



## (1) 整備事業 (馬頭処理区)

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
公共下水道事業	管渠工事 L=523.3m (硬質塩化ビニル管φ150, φ200)	47,261	国庫補助金 45,270
	付帯工事、公共ます設置工事	5,939	

## (2) 施設管理の状況

項目	単位	馬頭処理区	小川処理区
処理区域面積	ha	86	84
処理区内人口	人	1,612	2,868
処理人口	人	539	2,409
水洗化率	%	33.4	84.0
接続戸数	戸	231	839
年間処理水量	m <sup>3</sup>	70,092	302,701
1日平均処理水量	m <sup>3</sup>	192	829
年間汚泥脱水ケーキ量	t	16.0	280.5

## 農業集落排水事業

農業用用水の水質保全、環境の改善等を図り、施設の維持管理に努めた。

概要については、次のとおりである。

項目	単位	北向田地区	三輪地区
処理区域面積	ha	33.0	16.3
処理区内人口	人	487	349
処理人口	人	468	318
水洗化率	%	96.1	91.1
接続戸数	戸	135	90
年間処理水量	m <sup>3</sup>	79,738	29,808
1日平均処理水量	m <sup>3</sup>	220	82
年間汚泥引抜量	m <sup>3</sup>	194	216

## 簡易水道事業

簡易水道事業として設置されている 8 施設における水道水の安定供給および施設能力の維持管理に万全を期した。

工事関係では、国道 294 号谷田地内配水管布設工事のほか、白久地内配水管布設替工事を実施した。

平成 20 年度末における那珂川町簡易水道事業の概要は、次の通りである。

項 目	小 砂 地 区	富 山 地 区	矢 又 地 区	大那地 地 区	中 部 地 区	北 部 地 区	南 部 地 区	西 部 地 区	計
給水人口 (人)	1,328	404	264	177	3,923	1,171	1,369	246	8,882
給水戸数 (戸)	382	109	80	53	1,363	355	461	71	2,874
年間総配水 量 (m <sup>3</sup> )	95,816	27,149	22,099	9,371	445,594	108,680	114,395	21,593	844,697
年間総給水 量 (m <sup>3</sup> )	87,057	21,793	18,208	7,814	357,857	90,661	111,870	18,171	713,431
有収率 (%)	90.86	80.27	82.39	83.38	80.31	83.42	97.79	84.15	84.46
1 日平均配 水量 (m <sup>3</sup> )	263	74	61	26	1,221	298	313	59	
1 日平均給 水量 (m <sup>3</sup> )	239	60	50	21	980	248	306	50	
1 人 1 日当 り平均配水 量 (ℓ)	198	184	229	145	311	254	229	240	
1 人 1 日当 り平均給水 量 (ℓ)	180	148	189	121	250	212	224	202	